

都道府県名：兵庫県 団体名：東播用水「水と緑の交流」実行委員会

地域

東播用水は、兵庫県南東部に位置する神戸市他3市1町にまたがる約7,300haの農業地帯を潤しています。営農は、水田では水稻を中心に麦、大豆や野菜類を組み合わせた複合農業が営まれているほか、樹園地ではぶどうを中心とした果樹が作付され、都市近郊の立地条件を活かした農業が展開されています。

経緯

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、東播用水事業※の完了を契機に設立され、東播用水土地改良区を中心に上下流域の関係機関(国、県、市町等)が加わっています。

※ 東播用水事業(事業期間:昭和45年度～平成4年度)

東播磨～北神戸地域における恒常的な水不足を解消し、水道用水と農業用水の安定供給を図るため、川代ダム(丹波篠山市)、大川瀬ダム(三田市)、呑吐ダム(三木市)を建設し、これら3ダムを接続する導水路(約36km)を整備

功績内容

平成4年から毎年、水源地域及び下流受益地の住民が相互理解を深め、交流活動に取り組んでおり、東播用水の恩恵を受ける下流域の住民が水源地域を訪れ、「疏水百選」や「世界かんがい施設遺産」に選定された淡河川・山田川疏水等の水利施設を見学するとともに、多様な主体との協働による水源林の整備・管理や環境保全活動等を通じて、水の大切さや水源地域に対する感謝、水源地域の現状・問題などの理解を深めています。

また、大人だけでなく子供も参加できる施設見学会を開催し、水道・農業用水の水源地域であるダムや小水力発電等の役割、水利施設の歴史的・文化的価値を学ぶ場としても役立っています。

長年にわたり継続してきた上下流交流の取組みが定着してきたことにより、交流人口も着実に増加し、世代を超えた交流の輪が広がっています。



こうべ水の恵みウォーク



桜公園の草刈り作業



ダム探検隊



伐採作業